

# エチゼンビロウドマイマイ

*Nipponochloritis echizenensis* (Pilsbry & Hirase)  
異鰓目・ニッポンマイマイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】情報不足

## 選定理由

加越山地や奥越山地の山麓部や低山帯ではみられるが、特に平野部で個体数が大幅に減少しており、生息条件も明らかに悪化している。

## 種の特徴

殻高 15 mm、殻径 19 mm 程度で濃い黄褐色の丸みを帯びた円錐形の右巻き貝類である。表面には硬い羽毛状の短い鱗片状突起が斜めに規則的に生える。山地の湿潤な環境に生息する。乾燥に弱い。

## 分 布

富山県、石川県、福井県に分布する。本県では、奥越地方の山岳地等に分布する。過去には、県下一円に生息していたが、タイプ産地の越前市大虫地域では激減している。

## 生息を脅かす要因

分布が局限しており、森林伐採等による林床の乾燥化等の、環境改変により絶滅の危険性がある。

参考文献 福井県編 (2002)、環境省編 (2014)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)、東 (1995)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○	○		○	○			○	○	

# カムリケマイマイ

*Aegista kanmuriyamensis* (M.Azuma & Y.Azuma)  
異鰓目・オナジマイマイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】情報不足

## 選定理由

加越山地、奥越山地の冷温帯自然植生林床に生息する。生息地が局所的で、個体数が極端に少ない。

## 種の特徴

殻高約 7.5 mm、殻径約 9.0 mm、巻数 5.5 回で円錐形。殻は光沢のある淡い茶褐色から濃茶褐色で不規則な白から灰色の火炎彩模様がある。また密に細い微細な短毛状の凹凸突起があるが成長とともに脱落。軟体部は薄いアメ色ないし茶色で黒い斑点がある。

## 分 布

日本固有種。福井・岐阜・石川の各県の限られた範囲にのみ分布する。本県内では冠山のブナ極相林と金草山の林道付近等に生息する。

## 生息を脅かす要因

生息地が局限されており、生息地の林道開発や森林伐採による環境変化が主な要因である。また登山者や山野草の採集者等による撓乱も個体数減少の要因となる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会編 (1999)、福井県編 (2002)、岐阜県編 (2010)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○		○				○	○	

# オオミケマイマイ

*Aegista omiensis* (Pilsbry)  
異鰓目・オナジマイマイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

越前市の自然公園で一時的に高密度に発生した事例もある。しかし、温暖帯自然植生林床に生息するが個体数がかなり少ない。

## 種の特徴

殻長 3.0 ~ 5.0 mm、殻径 7.5 ~ 8.5 mm 程度。低円錐状で、殻色は淡褐色である。完全な地表性の種で、森林下の落ち葉の堆積したところに生息し、樹幹に登ることはない。エチゼンケマイマイは同種地方名である。

## 分 布

滋賀県を中心に岐阜県、福井県、石川県に分布する。本県では、嶺北地方を中心とした里山に局所的に分布する。

## 生息を脅かす要因

生息密度がかなり低く、確認される個体数は少ないが、生息を脅かす原因は、里山の山麓帯に生息するため土地造成、農地整備道路整備等により生息地が改変される可能性がある。

参考文献 福井県編 (2002)、環境省編 (2014)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)、東 (1995)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○					○	○			○		○			○